

<p>件 名</p>	<p>堺市下水道ビジョン（案）の策定について</p>
<p>経過・現状 政策課題</p>	<p>■策定経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 5 月 堺市下水道ビジョン策定懇話会設置 ・平成 22 年 5 月、6 月、7 月、8 月、平成 23 年 1 月の 5 回開催 <p>■下水道事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 27 年 8 月旧下水道法による事業認可取得 ・下水道処理人口普及率 95.5% <p>■下水道を取り巻く社会情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆現在・将来の市民生活へのリスクにかかわる社会潮流 <ul style="list-style-type: none"> 《安全・安心な社会への希求》 《地球規模の環境問題の切迫化》 ◆都市の成長に関わる社会潮流 <ul style="list-style-type: none"> 《少子化の進行と急激な高齢化、人口減少社会の到来》 《経済の成熟化とグローバル経済への変動》 ◆まちづくりを進める仕組みに関わる社会潮流 <ul style="list-style-type: none"> 《市民ニーズや価値観の多様・複雑化》 《公共のあり方の変化》
<p>対応方針 今後の取組 (案)</p>	<p>■堺市下水道ビジョン（案）の概要</p> <p>【基本理念】 水の循環をとおして、市民の暮らしを守り、環境の保全と地域の発展に貢献する。</p> <p>【使命】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使命 1: 市民の快適な暮らしを実現する。 使命 2: 市民の安全・安心な暮らしと都市機能の保全を実現する。 使命 3: 環境の保全及び潤いと活力ある地域づくりに貢献する。 使命 4: 持続的かつ安定的なサービスを提供する。 <p>【7つの将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来像 1: 衛生的に暮らせるまちの実現(汚水対策) 将来像 2: 雨に強いまちの実現(雨水対策) 将来像 3: 震災に強いまちの実現(下水道地震対策) 将来像 4: 川や海的环境保全に貢献するまちの実現 将来像 5: 潤いと活力のあるまちの実現 将来像 6: 地球温暖化対策を推進するまちの実現 将来像 7: 下水道が安定的に機能するまちの実現

	<p>【3つの戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事業の重点化・効率化戦略 ②事業の成長戦略 ③マネジメントの高度化戦略 <p>【中期実施計画（平成23年度～平成32年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像1:衛生的に暮らせるまちの実現(汚水対策) 全市域で汚水処理サービスを提供 ・将来像2:雨に強いまちの実現(雨水対策) 時間 50mm 豪雨に対し床下浸水被害を解消(床上及び床下浸水実績あるいはその浸水が想定される浸水危険解消重点22地区) ・将来像3:震災に強いまちの実現(下水道地震対策) 大規模地震時にも公衆衛生を保全し、トイレの使用と応急対策活動 を確保 ・将来像4:川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現 処理の高度化・安定化により土居川、内川、石津川の水質・水量 を改善 ・将来像5:潤いと活力のあるまちの実現 水の循環により環境へ貢献 ・将来像6:地球温暖化対策を推進するまちの実現 「クールシティ・堺」短期目標達成を先導 ・将来像7:下水道が安定的に機能するまちの実現 適切な維持管理によるサービスの維持、長寿命化によるライフサイクルコストの低減、改築更新の適正化と平準化を実現 水質管理の徹底により、健全な水の循環に寄与 <p>【中期経営計画（平成23年度～平成32年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆財政状況の分析 依然厳しい財政状況 【不良債務4.4億円・累積欠損金117.4億円】（公共下水道事業ベース） ◆経営基盤強化への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・企業債残高の抑制等を含めた財務体質の改善 <p>■今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年2月 堺市下水道ビジョン（案）公表 平成23年3月 パブリックコメント実施 平成23年4月 堺市下水道ビジョン策定
<p>効果の想定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○汚水・雨水の排除処理という下水道の基本的役割を果たしつつ、社会情勢の変化により必要とされる新しい役割をも果たすことで、堺の将来像を実現する。 ○厳しい財政状況、ニーズの多様化という状況の中で、堺市下水道の基本理念と使命に基づいた戦略的な事業推進と経営を実現する。
<p>関係局との政策連携</p>	<p>危機管理室、環境局、産業振興局、建設都市局、建設局など</p>

第1章 下水道ビジョンの策定趣旨

- ◆汚水・雨水の排除処理という基本的役割を果たしつつ、社会情勢の変化により必要とされる新たな役割を担い、「堺の将来像」を実現する。
- ◆厳しい財政状況の中、多様化するニーズに対応するため、下水道事業の基本理念と使命に基づき、戦略的な事業推進と経営を行う。

第2章 堺市下水道事業の概要

- ◆昭和27年8月 旧下水道法による事業認可取得
- ◆平成9年4月地方公営企業法の財務規定等を適用
- ◆平成16年4月水道事業との組織統合に伴い、地方公営企業法の全部適用
- ◆平成21年度末事業認可面積10,791ha、整備済み面積10,046ha
下水道処理人口普及率95.5%

第6章 中期実施計画（H23～H32）

- ◆将来像1 衛生的に暮らせるまちの実現（汚水対策）
【現状課題】市街化調整区域に未整備区域が残存《下水道処理人口普及率95.5%》
【取組・効果】全市域で汚水処理サービスを提供
〔汚水管約110kmの整備により汚水処理サービス100%〕
- ◆将来像2 雨に強いまちの実現（雨水対策）
【現状課題】集中豪雨による浸水被害《時間雨量約50mmに対する整備率約51%》
【取組・効果】時間50mm豪雨に対し床上・床下浸水被害を解消（床上及び床下浸水実績あるいはその浸水が想定される浸水危険解消重点2地区）
〔22地区の整備（ポンプ場3箇所、調整池1箇所、幹線約9kmの整備）〕
- ◆将来像3 震災に強いまちの実現（下水道地震対策）
【現状課題】施設の多くが未耐震《耐震化率：管きょ約16% 処理場等約41%》
【取組・効果】大規模地震時にも公衆衛生を保全し、トイレの使用と応急対策活動を確保
〔重要管路約33.9kmの耐震化と減災対策、重要下水道施設24棟の耐震化
マンホールトイレ約530基の設置、三宝下水処理場を防災拠点化〕
- ◆将来像4 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現
【現状課題】市内15箇所の吐口から未処理下水流出が年間15～74回
《合流式下水道改善率約2%》
市内河川は水質改善されているものの市民の満足度は低い
大阪湾の水質は横ばいまたは改善傾向であるが貧酸素水塊発生
《高度処理実施率25%》
【取組・効果】処理の高度化・安定化により土居川、内川、石津川の水質・水量を改善
〔榎地区の分流化約9kmの汚水管整備 三宝雨水滞水池6,800m³設置
石津雨水滞水池15,000m³設置 泉北下水処理場急速ろ過施設設置〕
- ◆将来像5 潤いと活力のあるまちの実現
【現状課題】雨水・再生水の更なる利活用《再生水利用1地区（堺浜地区）》
【取組・効果】水の循環により環境へ貢献
〔各戸貯留施設の設置支援
市民・事業者との協働による再生水、雨水利用の新たな事業モデル構築・実施〕
- ◆将来像6 地球温暖化対策を推進するまちの実現
【現状課題】市の事務・事業実施により排出する温室効果ガスの約1割が下水道事業
【取組・効果】「クールシティ・堺」短期目標達成を先導
〔下水道事業全体の温室効果ガス排出量を平成17年度比5%削減〕
- ◆将来像7 下水道が安定的に機能するまちの実現
【現状課題】処理場等の設備標準耐用年数超過率《機械：約60% 電気：約64%》
特定事業所として、法定水質基準は達成
《水系リスクが顕在化、再生水送水事業を実施》
【取組・効果】適切な維持管理によるサービスの維持、長寿命化によるライフサイクルコストの低減、改築更新の適正化と平準化を実現
〔アセットマネジメントの導入による施設の長寿命化計画の策定〕
水質管理の徹底により、健全な水の循環に寄与
〔放流先・利用用途に応じた水質管理
重金属・ウィルス等の水系リスクの未然防止、水質情報の開示・共有化〕

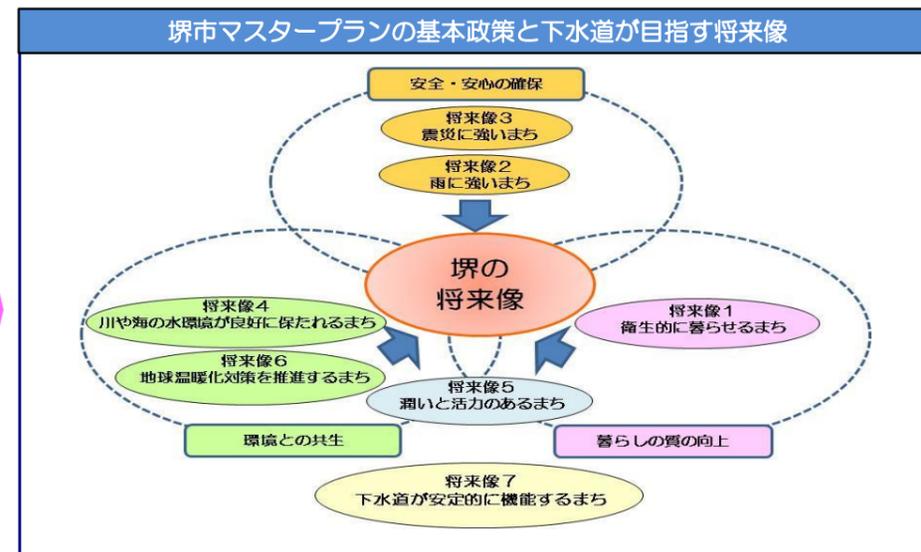
第4章 堺市下水道の基本理念と使命

基本理念
水の循環をとおり、市民の暮らしを守り、環境の保全と地域の発展に貢献する。

- 使命**
- ・市民の快適な暮らしを実現する。
 - ・市民の安全・安心な暮らしと都市機能の保全を実現する。
 - ・環境の保全及び潤いと活力ある地域づくりに貢献する。
 - ・持続的かつ安定的なサービスを提供する。

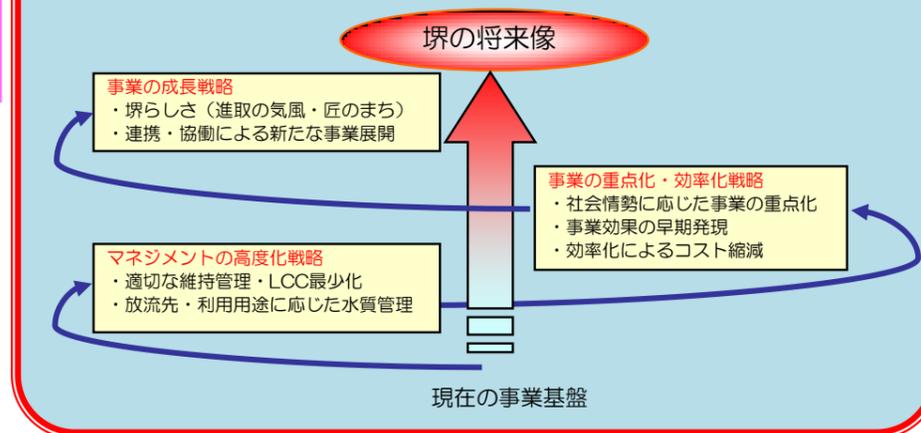
第5章 下水道ビジョンの基本的な考え方

- ・堺市マスタープランの「暮らしの質の向上」「安全・安心の確保」「環境との共生」の分野で将来像実現に向けた取り組みを実施
- ・概ね20から30年先を見据えた将来像を描き、確実にかつ効率的に実現していくための戦略を構築



下水道ビジョンにおける3つの戦略

- 1 汚水対策、浸水対策、地震対策など、衛生的で安全・安心な暮らしを守る事業は、事業効果を見極め、事業を重点化して計画期間内に確実に実施
- 2 温室効果ガス排出量の削減、雨水や再生水の利用など、地球環境保全や活力ある地域づくりに貢献する事業は、関係者との連携・協働や新技術の導入など、堺らしさを活かした新たな事業展開を開拓
- 3 持続的かつ安定的なサービス提供は、アセットマネジメント手法の導入や放流先・利用用途に応じた水質管理など、マネジメントの高度化で実現



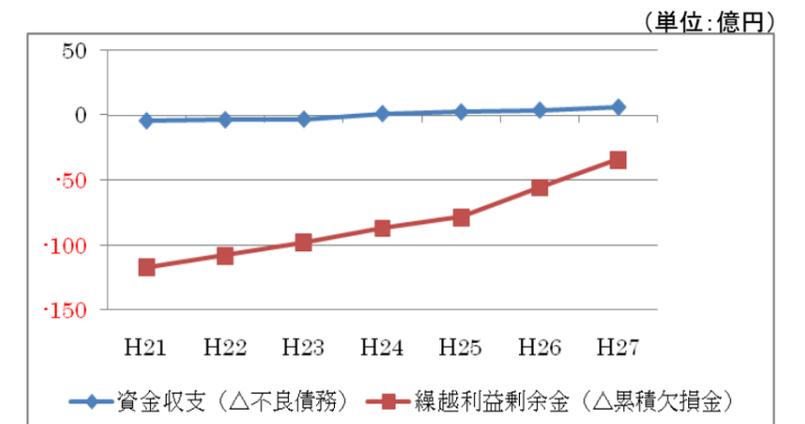
第3章 下水道をとりまく社会情勢の変化

- ◆現在・将来の市民生活へのリスクにかかわる社会潮流
《安全・安心な社会への希求》
・ゲリラ豪雨による浸水被害の増大
・大規模地震発生の懸念が拡大
《地球規模の環境問題の切迫化》
・低炭素型の都市構造への変革＜クールシティ・堺の実現＞
- ◆都市の成長に関わる社会潮流
《少子化の進行と急激な高齢化、人口減少社会の到来》
・持続可能な都市経営基盤の確立
《経済の成熟化とグローバル経済への変動》
・新たな資源や市場、技術を活用する成長戦略
- ◆まちづくりを進める仕組みに関わる社会潮流
《市民ニーズや価値観の多様・複雑化》
・まちづくりを進める新しい基盤の構築
《公共のあり方の変化》
・行財政運営の効率化
・様々な主体が協働したまちづくり

第7章 中期経営計画（H23～H32）

- ◆財務状況の分析 依然厳しい財政状況
【不良債務4.4億円・累積欠損金117.4億円】（公共下水道事業ベース）
《経営課題》1)不良債務の解消
2)累積欠損金の解消
- ◆経営基盤強化への取組み
・企業債残高の抑制等を含めた財務体質の改善
・再生可能エネルギー導入による電力費の削減や、アセットマネジメントを導入することによるライフサイクルコストの低減などを含めた更なるコスト削減を推進
・施設管理の包括的委託化を含めたアウトソーシングを推進するなど、より効果的な組織を実現することで、要員管理計画に基づく職員数削減を着実に推進
・大口排水事業者を含めた水洗化促進と無届使用対策にかかる施策強化
・技術の継承、レベルアップを目的とした人材育成の推進

経営課題	経営基盤強化への取組みによる効果
不良債務の解消	平成24年度末解消を目指す
累積欠損金の解消	不良債務の解消後に、早期の解消を目指す



第8章 ビジョンのフォローアップ

- ◆5年後にビジョンの見直しを位置づけ、後期5か年の短期実施計画を策定する。
- ◆PDCAサイクルにより、進捗、効果、効率性の評価・検証し、目標の達成を図る。